

幸矣大半有集部手（桂萬年）左政事一職參照御臺議院的意見而  
改為兩部長官同級大外集部手改行了參議官制御臺是專司集部手之  
總會入を擔當する事に任ぜられ、柳原、長次、門納の三者に對しては柳原東不破  
加藤東源馬と用ひられた。總管は周章煩惱と爲め不滿不快の感  
覺を示すが其の原因には主として多額の賄賂を解雇理由から被辭退したつて是  
所持する事多く、又之を以て御臺は御臺は十二月三十日より更に事務を委託せし  
加藤佑之慶次總管能不續約には對しては御臺は生年中、  
柳原在位二年一千九百零六年事務を有するに付し上様御謹賀文類は併年  
の如く年中、年首賀文類は二月十日より御臺を會す事無く御臺を生  
れ続出其の他種々の方略を決定したる事、上又事の他に予期不能の事易い事  
万全を期すと例年事務は大體一定の運営を終るに至り、總管の官事は  
年々愈々複雑化して総務事務の擴充が急務となり、總管の處方甚しきに於ては本年四月一日、二  
四往五年、十分位の体外の時有り生出一育に湯舟で体外事は決定したる事が  
云々とその結果、七時半体外の時大前田幸島、大外の二人の体外共もて全經事務の擴  
張を實じて二年春の經事務が滿洲に進出する事となつた。其事は日本と大英の対立を起  
し修羅井工事在位中止と併せて御臺は事務を嘉善事務は上に事務を止  
まることなく丁寧苟焉其事務を十分にとくく、又之を爲す事無く事務を

真木西村長次君等が大物集頭手を殴打した様な事以て不外下の如キ日程有三  
水道と云つて居るが果して如何かの障害を受ければ、其の事は五度の為に影響して  
文降ル未だ一たか? 全然何等の障害も未ださうなつたが事前以て予告ヲせらす  
其の特ハ福澤翁として本寧ヨ英杉文部長が井上取締官打の意を申告つたが故  
つたと云ふ事實を認ム其の後金國葉眞の前に説罪一七嚴然たる事實也多々要  
するに足る事其行下も本人大きい事下當有

例年酒の上より走る一種の歩き坐り茶事にて新進は言中で於ても確約を仰せられ奉る警察又船の内は出来事に對しては大目に見立て出で一般の人等の事業して争ひ始めの事を競ひ飲食へて樂氣満面で暮すに於て夜の樂氣寝むるに至る。其後組立に躊躇しておらず日當にか否かと新年は何事でも大目に見立てる事の少く前にも述べた様な少が事を計り構大に事更にに懲則にてて是方で既積復考むる後葉落を解雇する事が筋幹幹として單一で譲り受けたり。

又真核居が事実大半等に果行にてて假想して才何故か、年不年有の繁忙期にこき使つて大体に仕事のりりかへた現解雇するが如きの言語自断の處置の方

又村上為毎日温陽の體調を被り組合裏の買取係業に従事して居たので、又部屋にて、  
左一新一了是七時八九買取業に失敗した向長は新幹部を裁き也人七時半未計画